

第7回 岩内町立小中学校運営協議会推進委員会 議事録

日 時 平成30年3月28日(木) 18:00～18:30

場 所 岩内町立岩内第一中学校 会議室

議 事 内 容

(本間委員長)

定刻になりましたので、ただいまから岩内町立小中学校運営協議会推進委員会を開催いたします。本日は委員長が所用のため欠席となりましたので、岩内町立小中学校運営協議会推進委員会設置要綱第6条第4項の規定により、副委員長であります私が進行を務めさせていただきます。本日は、前回の推進委員会において事務局から岩内町学校運営協議会に関する指針(案)が示され、その資料等をお持ち帰りいただき、委員の皆さん個人で検討をいただいた上、本日、再度、委員の皆さんで協議を行い、決定することとなっておりますので、そのように進めてまいりたいと思います。よろしく願いいたします。

それでは、事務局より示された岩内町学校運営協議会に関する指針(案)について、ご意見などございませんか。

(事務局 青山課長)

委員の皆様に指針(案)を一度持ち帰っていただきました。案についてご意見を願います。

(藪 委員)

指針(案)の「はじめに」から「コーディネーター」については変わりなしということでしょうか。

(事務局 青山課長)

今回は、説明用に指針案に内容を付け加えて、別資料も添付して提案いたしました。内容は、前回と同じでございます。

(藪 委員)

平成31年度の本格的始動前、30年度の今後の事業をわかる範囲で教えていただければと思います。

(事務局 青山課長)

現在考えているのは、手話、ボーイスカウトなど。また、地域に植物博士の方がいらっしゃいまして、その方とキャンプや薬草の勉強などを考えています。コミュニティ・スクールは学校の応援団だと思います。平成30年度にできることを着実に取り組んでいきます。今回は、ボランティアの方の名簿を持参します。学校においては、31年度の運営計画の部分の相談。また、小学校では、現在、学習支援として学校支援員に入っていますが、長期休業部分の学習ボランティアや

国語と算数以外の社会と理科の学習支援事業も考えています。協議会は東側、西側、にそれぞれ1つずつ設置する予定でいます。30年度じっくり委員の皆さんと話して進めていきたい。

(藪 委員)

学校の応援団は大変ありがたいです。平成30年度の活動の予算付けについてですが、30年度にコミュニティ・スクールの全国大会が三笠市であります。昨年、登別に視察に行きましたが、今年度、全国大会に視察に行くような予算はあるのでしょうか。

(事務局 青山課長)

平成30年度の視察研修の予算付けは行っています。全国大会ということで、行けるのであれば行きたいと思います。予算を調整しながら対応していきます。また、平成31年度の予算については、30年度の11月末までとなります。それまでに、どういった事業を進めるのか、学習支援をするにしても、ボランティアの方にご協力いただくのか、支援員を雇用するのかといった細かい部分も検討していかなければなりません。

(大橋 委員)

会議についてですが、年に何回行うのでしょうか。現段階で決まっていますか。

(事務局 青山課長)

現段階では、細かく決まっておりませんが、11月末までに31年度にどんな事業を行うのかを決めていきたいと考えていますので、タイトなスケジュールになるかもしれません。ご協力をよろしくお願いいたします。また、4月からPTAの入れ替わりがあるかと思いますが、昨年一年を通してコミュニティ・スクールについて学んでまいりましたので、ぜひ引き続き続けていただければと思いますが、PTAの委員の方と相談し進めていきたいと思っています。

(藪 委員)

先ほど、学校の応援団ということをおっしゃっていただきまして、学校の課題を出して、その課題の解決や、学校の希望を実現したりなどといったこと、一中であれば、学習習慣やスマホ・SNSの使い方等を全町的な取組としていくといったことを取り扱っていてもいいのでしょうか。

(事務局 青山課長)

学校側が必要としているものや課題を一緒に考え、みなさんで熟議を行い、進めていきたいと思っています。事務局が主導するのではなく、協議会全体で進めていき、教育委員会がフォローしていくということが基本だと考えています。

(鎌田 委員)

学校の目線で考えると、5年生の宿泊研修、運動会、社会科の活動、総合的なプログラムなど、現在の活動をより充実させていきたい。また、学校が必要としている部分も地域の方に手伝っていただけるとありがたい。

(事務局 青山課長)

協議会で行えることは、その両方になると思います。学校の要望に合わせて、必要な人材の確保、学校の諸課題の解決に取り組んでいきたいと思っています。平成31年度、たくさんの事業を持ったとしても、多くて2～3事業となると思います。東と西の協議会が連携し、30年度に足がかりをつくって、31年度に実際進めていくなど、徐々にできることを増やしていきたいと考えています。

(青木 委員)

協議会の事業は、運用次第で大変メリットがあると思います。学校の参観日は来校者が少ないです。色んな立場の方に生徒をみていただきたい。また、クラスの生徒数が増えると、T1だと対応しきれないという課題もある。地域とのかかわりを生徒にも増やしてあげたい。それが社会に開かれた学校ということにもつながってくると思います。

(加藤 委員)

ボランティア、人材バンクなどのお話がありました。岩内町学校運営協議会に関する指針につきましては、事務局からの提案のとおり決定することで、よろしいでしょうか。

<意義なし>

(加藤 委員)

それでは、そのようにいたします。

(加藤 委員)

次に、議事事項2その他に入ります。全体を通して何かございますか。

<質問なし>

(加藤 委員)

それでは、以上をもちまして、岩内町立小中学校運営協議会推進委員会を終了したいと思います。本日は、大変ご苦勞様でした。